

瑞穂市校務 DX 計画

瑞穂市では、教育現場のデジタル化を推進し、効率的かつ効果的な校務運営を実現するために、校務 DX（デジタルトランスフォーメーション）計画を策定しました。本計画では、ネットワーク環境の整備、クラウド環境の活用、FAX と押印の原則廃止、次世代の校務システムの導入について具体的な方針を示します。

1 ネットワーク環境の整備

校務 DX を推進するためには、まず安定したネットワーク環境が不可欠です。瑞穂市内の全ての学校において、より高速かつ安全なインターネット接続ができる環境整備を進めます。また、Wi-Fi 環境により、教職員や生徒が自由にインターネットを利用できる環境を維持します。これにより、オンライン授業やデジタル教材の活用が促進され、学びの質が向上します。

2 クラウド環境の活用

校務にかかわる業務の効率化を図るため、各種業務システムのクラウド化を検討します。これにより、教職員は様々な環境から必要な情報にアクセスできるようになり、業務の柔軟性が向上します。また、データのバックアップやセキュリティ対策も強化されるため、安全な情報管理が実現します。

3 FAX と押印の原則廃止

校務 DX の一環として、FAX と押印の原則廃止を進めます。これにより、紙ベースの業務からデジタル業務への移行を加速させます。さらに、業務の迅速化と効率化が図られ、教職員の負担軽減にもつながります。また、ペーパーレス化が進むことで、環境への配慮も実現します。

4 次世代の校務システムの導入

現在、使用している校務システムは、成績管理・保健・学籍等の情報を有し、岐阜県内の他の自治体との共同運用をしています。今後、教育の情報化、教育の質の向上、教員の働き方改革、災害時の持続性の向上のためにクラウド化の必要性が高まっています。共同運用の更新時期に合わせ、クラウド化やセキュリティ強化等の検討を行います。